

住民説明会で頂いた意見への回答について

1 説明会概要

実施日	会議名	場所	出席人数
8月24日（火）	第1回住民説明会	北部地区公民館	9
8月25日（水）	第2回住民説明会	中部地区公民館	11
8月26日（木）	第3回住民説明会	市役所大会議室	6

2 主な意見・質問と回答

（1） 北部地区公民館

No.	意見・質問	回答	反映
1	・かみのやま温泉 駅東地区の開発について、これまで放置されてきた理由や原因はどのように考えているのか。	駅東側については、これまでは工場や農地としての土地利用がなされてきました。近年は工場の撤退や農地としての利用がなくなり、利用の程度が低い低未利用地状態になっていることから、第2期上山市都市マスタープランに駅東の土地利用の検討を位置付けしてきました。加えて、食品工場の撤退など、大規模な低未利用地が生まれ、民間宅地開発の動きが出てきたことで新たな動きが出てきたことから、民間事業者とも連携し住環境の整備を進めていきたいと考えております。	—
2	・昔から住んでいる丘陵地の開発をなおざりにしてきているように感じる。そのせいで発展しないように感じる。 居住誘導よりも現在住んでいる人を応援できる支援が大事なのではないかな。	今後は、都市構造再編集中支援事業等を活用しながら、かみのやま温泉駅を中心とした周辺部の質の向上を図ることで都市の魅力を高め、一定の人口密度を保つ区域を設定し、現在ある店舗等を維持し、持続可能なまちとなるよう進めていきたいと考えております。 今後の対策として、駅西側での大きな宅地開発は難しい状況ですが、道路空間の美装化や河川空間の再整備、ファサード改修事業等による風情ある街並みを形成しながら、民間事業者等とも連携し空き地空き家空き店舗の活用を進めてまいります。 また、駅東側については、大規模な低未利用地がまとまっていることから、民間事業者と連携し、主に子育て世代をターゲットにした宅地整備や長清水公園の再整備、新たな店舗等の誘導を進めてまいります。 本計画は持続可能なまちづくりを進めていくための手段であり、各課連携のもと魅力あるまちづくりを進めるため、社会情勢に合わせた計画の見直しも行ってまいります。そのために、持続可能なまちづくりの枠組みを市として示し、市民の皆様のまちづくり活動が活発化することで、よりよい上山市が形作られると考えます。	—

3	・市が配布している洪水ハザードマップと説明会資料（計画書 p136）の災害リスクへの対応イメージ図の区域が違うのではないかな。	洪水ハザードマップは想定最大規模（1000年に一度の降雨量）で示されています。上山市立地適正化計画（案）で示している災害リスクの図面は、計画規模（100年に一度規模）で浸水想定深 0.5m 以上で家屋が集中する区域と最大規模（1000年に一度規模）の想定浸水深が大きい場所を抽出しているため、同じものではありません。	—
4	・災害リスクへの対応イメージにある河川氾濫に対する対応について、今後の計画進捗はどのようなになるのか。	河川改修事業は、河川管理者である県と協議のうえ事業促進を要望していきますが、長期的な計画であるということのご理解をお願い致します。 また、短中期的には、河川浚渫事業を要望し、リスクに対する取組を進めていきます。	—
5	・旧上山農業高校グラウンドは居住誘導区域に入るのか。旧農高跡地のような広いエリアは居住、商業地域など有効活用を図るべき。	旧上山農業高校跡地は、県道に面し広大な敷地を有する開発可能性がある土地と認識しております。しかしながら、周辺部は人口が集中していないことから居住誘導区域からは除外する考えです。 今後とも県道東側の県有地については、上山市の発展に大きく寄与するような活用を図ることを引き続き県に要望してまいります。	—
6	・北部地区はバスや鉄道の利便性が高く、山形市にも近く、居住環境はとてもよいので居住誘導区域を拡大して欲しい。		
7	・茂吉記念館周辺をエリアに入れて若者にスポットを当てた計画にすべき。		
8	・温泉健康施設の民間参入についてどのような計画か市は把握しているのか。	敷地内の源泉を活用した日帰り入浴施設やプールを計画していると伺っておりますが、現時点では詳細は示されておられません。	—

9	・民間企業が北部地区に大きな施設を作るときは、都市機能誘導区域内に誘導するのか。	誘導施設（小売店、飲食店など）については、都市機能誘導区域内に誘導いたします。誘導施設であっても、施設規模等により、都市機能誘導区域外に立地する可能性があります。その際は、届出制度により立地動向を把握することになります。 なお、工場のような誘導施設に該当しない民間企業は届出不要となります。	—
10	・河川敷に耕作目的で占用物などを置いてあるが、河川氾濫時には支障となるため、個人占用ではなく公共空間として活用できるよう検討願いたい。	河川敷の適正利用が図られるよう河川管理者とも情報共有に努めてまいります。	—

（２）中部地区公民館

No.	意見・質問	回答	反映
11	・空き店舗の状況に石崎商店会が入っていないのでは。	空き店舗の状況を記載致します。【計画書 p. 15】	○
12	・浸水想定深を３メートルで区切っているが分けた意味を伺いたい。また、他市町村ではどのように区域設定をしているのか。	浸水深３メートルは、一般的な家屋の２階床下に相当するとされており、直上避難が可能である高さと考えております。 他市町村の区域設定は、居住誘導区域の全域が浸水想定区域となっている自治体や、浸水想定区域が全く無い自治体など地域により様々となっております。 上山市では、市街地の大部分が浸水想定区域であることから、居住誘導区域から除外することは現実的ではないと考えますので、災害に対する備えをして頂くことが重要と考えます。	—
13	・中心市街地活性化区域との整合性は図られているのか。	本計画は、第２期上山市中心市街地活性化基本計画等の関連計画とも整合を図ったものとしております。都市機能誘導区域（駅西地区）は、中心市街地活性化基本計画区域界を基に設定しています。	—
14	・ヨークタウン南側（仙石地区と金生地区の間）のエリアが白地であるがこのエリアはど	人口減少が推移される状況において、新たな市街化区域の拡大は現状困難と考えております。ヨークタウン南側（仙石地区と金生地区の間）のエリアについては、引き続き、農業系の土地利用を図っていく考えです。	—

	のようにしていくのか。		
15	・河川改修の実施とあるが具体的にどのようなことを考えているのか。	河川改修事業は、河川管理者である県と協議のうえ事業促進を要望していきますが、長期的な計画であるということのご理解をお願い致します。 また、短中期的には、河川浚渫事業を要望し、リスクに対する取組を進めていきます。 なお、荒町川は、河川管理者である県と協議し、事業再開に向けて来年度に調査を実施するよう進めております。	—
16	・もっと夢を持たなければ中心街に人は来ない。カミンだって破綻した。次の世代の人がもっと夢を持てるようにすべき。	今後は、都市構造再編集中支援事業等を活用しながら、かみのやま温泉駅を中心とした周辺部の質の向上を図ることで都市の魅力を高め、一定の人口密度を保つ区域を設定し、現在ある店舗等を維持し、持続可能なまちとなるよう進めていきたいと考えております。 今後の対策として、駅西側での大きな宅地開発は難しい状況ですが、道路空間の美装化や河川空間の再整備、ファサード改修事業等による風情ある街並みを形成しながら、民間事業者等とも連携し空き地空き家空き店舗の活用を進めてまいります。 また、駅東側については、大規模な低未利用地がまとまっていることから、民間事業者と連携し、主に子育て世代をターゲットにした宅地整備や長清水公園の再整備、新たな店舗等の誘導を進めてまいります。 本計画は持続可能なまちづくりを進めていくための手段であり、各課連携のもと魅力あるまちづくりを進めるため、社会情勢に合わせた計画の見直しも行っております。 そのために、持続可能なまちづくりの枠組みを市として示し、市民の皆様のまちづくり活動が活発化することで、よりよい上山市が形作られると考えます。	—

(3) 市役所大会議室

No.	意見・質問	回答	反映
17	・いろんな側面からいろいろな問題があるというところがわかった。この計画を参考に地区としても要望等の検討を行っていきたい。	課題を共有し、よりよい上山市となるように計画を推進していきます。	—